

コラム

~ Column ~



JR勝田駅改札横に観光案内所が設置されます。モデルは上野駅中央口ブースのような感じの都会的な雰囲気、中にはカウンターが設置され、案内パンフレット等も置かれる予定です。以前は駅のエスカレーター脇やウインウインビルの片隅に設置されておりましたが、観光案内所として場所が確保され、地元の食や季節のお土産、観光情報等が提供されることになりました。完成は3月上旬で、運用は4月から観光協会がまちづくり会社に委託してサービスを開始します。通年で人の呼べる魅力を持ち、ますます交流人口が増えてにぎやかな街になることを期待したい。

議会日程

2~3月

- 2月27日 本会議(開会)・予算委員会(補正)
 - 28日 本会議(補正予算採決)・新年度予算説明会
 - 4・5・6日 議案調査
 - 7日 本会議(代表質問)
 - 8日 本会議(代表質問・一般質問)
 - 11日 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
 - 13・14・15・18日 予算委員会
 - 20日 常任委員会
 - 25日 本会議(閉会)
- ※詳細は議会事務局にご確認ください。

◎市政相談は、会派 ひたちなか 大谷たかし までご連絡ください。

〈経済建設委員会委員長・予算委員〉

〒312-0025 茨城県ひたちなか市武田885-2 TEL: 029-271-1732 / FAX: 029-271-1780

<http://www.ohtani-takashi.com>

おお たいに
会派 ひたちなか **大谷 たかしの**
議会かわらばん
 代表 打越ひろし
 編集責任者 大谷たかし
 2019. 冬号

議会報告

ひたちなか市議会12月定例会が11日開会となり、16日間の会期が決定されました。11月の市長選で誕生した「大谷 明」新市長の所信が示され、「自立と協働の精神に基づくまちづくりを引き継ぎ、更に発展させてゆく」との表明がなされました。続く報告事項の質疑・討論・採決の後、今期定例会に提出された議案の提案理由が示されました。その調査のために議会は一旦5日間の休会に入り、17日から3日間の一般質問を挟んだ19日、既に提案理由が示されている議案に対する質疑を行い、各委員会へ議案を付託。翌20日に予算委員会が持たれ、21日に各委員会を開催。最終26日、付託議案について委員長が報告。請願・陳情等と合わせ採決を行い、定例会は終了しました。

■主な議決内容

予算を補正します

- 幼稚園・小学校・中学校の既存ブロック塀の撤去・改修等安全確保対策経費 ほか
(国の30年度補正予算を活用)

佐和駅東土地区画整理事業施行規程を改正します

- 事業費削減と工期短縮のため、事業の見直し内容を踏まえ、優先的にすすめるエリアと次ぐエリアに分けて整備を進めるため、工区分けを行うよう一部改正します。

高場雨水管きょ敷設工事の 請負契約を締結します

- 市内の浸水被害早期解消のため、高場下谷地区(高場雨水11号幹線2工区)の雨水管を敷設する工事契約を締結します。



敷設現場付近(下谷地区)

平成30年12月定例会 議案等の概要

- ・報告 2件
- ・議案 7件
- ・陳情 5件
- ・諮問 3件
- その他

特別委員会《産業の振興と観光の推進調査》報告 (抜粋要約)

賑わいの創出

【阿字ヶ浦地区】…現在学生陸上競技、サッカー合宿等の拠点となっている。更にラグビーの「菅平」のようなスポーツ合宿の憧れの場所と認識される取り組みを図りたい

【ロックイン・ジャパン】…「音楽のまち」を目指して更なる交流促進を

【道の駅】…地元特産品販売や交流人口拡大による地域経済振興の観点からも地元の要望は強い。しかし、県内各地に建設されており、立地・コンセプトを十分に検討して判断することが必要

【平磯電波研究所】…地理的・歴史的特性を考慮しつつ地元との跡地利用の検討が望まれる
(注) 大正4年に発足した通信省電気試験場平磯出張所で、日本の「無線通信技術」の発展に貢献、また、水戸藩唯一の波の見所「観涛所」の隣りで、一帯は「ジオパーク」の候補地

【おさかな市場】…交通アクセスは観光の生命線、市場周辺の道路は渋滞が長年指摘されている。道路拡幅や駐車場の拡大など、県と協議し要望活動の継続を求める。

【市内史跡名勝】…国指定史跡の虎塚古墳や水戸徳川家ゆかりの建造物等が点在。それら資源を発見、発掘して磨きをかけること。また、「ものよりコト」への観光ニーズの変化を踏まえた周遊モデルコースの充実と周知も必要。更に文化財の修理保存等、国の補助活用など早急な基本計画の策定と、観光地の環境整備のため、駐車場の確保・トイレの美化と数の確保に取り組む必要がある

ひたちなか地区の魅力発信

【ひたちなか海浜鉄道】…3セク移行はH30年で10周年、年間乗降客数は100万人超えとなり、海浜公園の年200万人、おさかな市場の年100万人の来場は大きな資源。延伸とその終着点での交通ターミナル（駅前広場）は、交通結節点として観光資源等を有機的に結合し、来訪者の回遊性向上と交流人口の増加が望める。また、鉄道自身の魅力向上にも繋がる。（案内所・物産館等の拠点施設整備が必要）一方事業費高騰による市の負担増加と、少子高齢化による利用数への懸念もあるので、延伸は多方面からの分析を要する。

【茨城港常陸那珂港区】…高速道路（北関東自動車道）が港に直結した日本唯一の港湾（現在国内外17航路就航）で、関越・東北・常磐道とも接続し、アクセス性に優れ、渋滞もなく計画的物流に優位。港湾内でのゲート待ち時間もなく、1日に数往復が可能で、輸送時間とコスト低減、またドライバーの負担軽減でも優位。水深12m耐震強化岸壁の供用開始は、大型クルーズ船の接岸を可能にし、物流から観光までカバー可能。京浜港に台頭し、中核国際港湾として発展に期待。

【国営ひたち海浜公園】…春のネモフィラ、秋のコキアなど四季を通じて来訪者があり、雑誌やSNSでも取り上げられて外国人も急増。しかし、首都圏から近く、それらを絡めた内容が薄いため、日帰りが圧倒的。必要とされる情報の一元化と、観光パッケージの開発が必要。

企業誘致

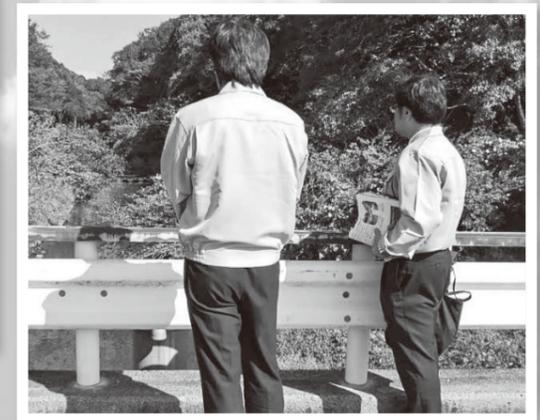
【山崎工業団地】…本市はものづくり産業の集積地。また、東海村では、「J-PARC」はじめ、原子力関連の機関が集積。それらを最大限活用し、新技術・新製品の開発を見込む。団地企業のニーズや、空き情報の把握、進出企業への迅速かつ的確な情報提供の環境構築が必要

【常陸那珂工業団地】…茨城港常陸那珂工区隣接と北関東直結はセールスポイント。販売単価、売却面積の見直し等で進出しやすくなっている。また、テクノセンター等の産業支援も有効。県と協力し、PRが必要。

活動報告



全国トップクラスの汚染が指摘されている「早戸川」の水質調査を視察



ワイワイふれあい館（ワーホイ）にて



子どもふれあい館（クリスマス会）にて



2019年度消防出初式

